

OAT アグリオと 登録番号 生第101454号
愛知製鋼（トヨタグループ）の共同開発液体肥料
鉄力®トレプラス®



●包装 1ℓ×12本／ケース

【特 長】

1. 二価鉄（安定的に吸収されやすい鉄）愛知製鋼が独自に開発した二価鉄配合肥料です。
2. 微量元素強化（マンガン、ほう素）で生理障害の予防効果があります。
3. トレハロース（多機能な二糖類）は細胞やたん白質を低温や乾燥から保護します。
低温高温日照不足時の樹勢維持、環境ストレス低減及び収量アップが期待できます。

【成分組成】

保証成分（％）			配合成分（％）				その他
水溶性苦土	水溶性マンガ	水溶性ほう素	鉄	銅	亜鉛	モリブデン	トレハロース
2.0	1.00	1.00	0.50	0.05	0.104	0.039	

【使用方法】

- | | 希釈倍率 | 使用時期 |
|-------------|---------------|----------|
| ● 葉面散布（育苗時） | 2,000～ 4,000倍 | 1～2週間に1回 |
| ● 葉面散布（本圃） | 1,000～ 2,000倍 | 1～2週間に1回 |
| ● 土壌灌水（灌注） | 5,000～20,000倍 | 1～2週間に1回 |
- 養液栽培での使用方法（①原液タンク、②希釈タンクでの混用使用）
- ①ハウス2号（Bタンク）と混用してください、ハウス1号（Aタンク）と混用しますと沈殿物（りん酸鉄）の発生の可能性があります。
ハウス2号原液タンク 200～600ℓ（混用量1ℓ～3ℓ）
- ②希釈タンクへの混用は10,000～20,000倍になるよう濃度を調整ください。
10日おきに施用し生育状況を確認しながら濃度、間隔を調整ください。
※養液土耕肥料、タンクミックスとの混用は沈殿の可能性があります混用できません。

【作物毎の使用手法】

作物	希釈倍数 (倍)	散布時期	散布間隔	目的と効果
果 菜 類	1000 (育苗2000)	育苗期 開花～収穫期	生育期10日おきに散布	着果促進、成り疲れ解消
葉菜類・根菜類		育苗期 定植～収穫期	定植2週間後から3回散布	生育促進、品質向上
豆 類		育苗期 開花～収穫期	開花開始から3回散布	着莢数増加、品質向上
果 樹 類		開花前～果実肥大期	開花直前、落花直後、 果実肥大期	花芽充実、品質向上、 果実肥大促進
花 き 類		生育期	生育期10日おきに散布	日持ち向上、生理障害の予防

【使用上・保管上の注意】

1. アルカリ性資材とは混合しないでください。
2. 肥料以外の目的には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届く所に置かないでください。
4. 容器の口を密封し、直射日光をさけ凍結しない冷暗所で保管してください。
5. 施肥作業後は洗眼やうがいをして皮膚への付着物を洗い流してください。
6. 目に入った場合は、直ちに流水で十分に洗い流し、速やかに眼科の診断を受けてください。
7. 飲み物ではありません。食品と区別して保管してください。
誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
8. 保管中に有機成分由来の沈殿が発生することがありますが、効果には影響ありません。よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
9. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合でのみご使用ください。
10. 有機成分を配合していますので、希釈後長期保管するとカビ等の発生の原因になります。タンク投入後速やかに使いきってください。また、希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使いきってください。
11. 石灰硫黄合剤と混用すると有毒なガスが発生するおそれがあり、危険ですから混用しないでください。
12. 高温・乾燥・多湿条件など、不適切と思われる条件での散布はさけてください。
13. りん酸を含む肥料と混合すると、沈殿を生じることがあります。りん酸を含む肥料と混用する場合は、ご使用の直前に混合し速やかに使いきってください。
14. これらの処理方法は、あくまでも一般的なものですので、生育状況や気象条件に応じて、濃度、間隔、回数を調整してください。
15. 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。